

空き家再生等推進事業

自治体情報 徳島県三好市

人口 / 30,432人 標準財政規模 / 16,669百万円

担当課 産業観光部観光課

電話番号 直通 0883-72-7620

実施主体 三好市

関連ホームページ <http://www.city-miyoshi.jp>

事業期間 平成 22 年度から平成 25 年度まで

関係施策分類

予算関連データ

総事業費：243,000千円

名称	所管	金額(千円)
社会資本整備総合交付金	国土交通省	121,500
合併特例債		115,400
一般財源	—	6,100

施策のポイント

山間地域で空き家となっている古民家を田舎暮らしが体験できる交流滞在体験施設として活用し、交流拡大による地域の活性化と地域コミュニティの維持再生を図るとともに、移住・定住の促進も目指す。

施策の概要

1. 取組に至る背景・目的

本市の専用住宅総数7,280戸で、うち空き家数が1,580戸、空き家率は20%にのぼる。これら空き家のほとんどが山間地域に所在しており、山間地域の過疎化が深刻な状況下にある。

2. 取組の具体的内容

伝統的建造物群保存地区となっている三好市東祖谷落合集落内で空き家となっている江戸中期の建築とされる伝統的建造物に指定される古民家を、田舎暮らしが体験できる交流滞在体験施設として再生し活用する。

3. 施策の開始前に想定した効果、数値目標など

交流人口の増加と地域の活性化が期待でき、併せて空き家の改善対策にもつながり、集落景観の維持と向上が図られる。

4. 現在までの実績・成果

事業開始年度 H22年度 2棟、H23年度 1棟、H24年度 2棟設計作業中。

全て築2～3百年程度の古民家である。

5. 導入・実施にあたり工夫した点や苦勞した点とその対処法・解決策など

空き家所有者との調整。

6. 今後の課題と展開

空き家の中には、築数百年の文化的価値のあるような古民家も含まれており、これらは「古き良き時代の日本の原風景」とも言われる当市の山村集落風景の一部を形成していることから、山村景観の保全のためにも、山間地域のコミュニティの維持のためにも利活用していくことが望ましい。